▲子どもたちは「サンタさんありがとう。来年もまた来てね！」とお願いしていました

只見振興センター
子どもたちに夢とプレゼントを！

12月24日のクリスマスイブの夜、若いサンタクロース達がプレゼントを背負って子ども達の家を訪ねて回りました。これは、平成7年度に始まった「子どもたちに夢を贈る会」という只見振興センターの事業で、しばらく中止となっていましたが今年数年ぶりに復活！只見高校の山村留学生らがサンタクロースとなって事前に依頼のあったお家を訪ね、子どもたちにプレゼント手渡しました。

朝日振興センター
ちょっと早めのクリスマス会！

12月7日、朝日地区の恒例行事となっている「クリスマス会」が朝日振興センターで行われ参加者やその保護者、中学生スタッフなどあわせて100名以上が集まり少し早めのクリスマス会を楽しみました。

みんなでクリスマスソングを歌うとサンタさんが登場し、一人一人にプレゼントが配られました。また、今年はブナりんも登場し子ども達は大喜び！ブナりんはゲームにも参加しさらに会場を盛り上げました。

▲サンタさんからひと足早いクリスマスプレゼント！

◀この日のブナりんはクリスマスツリーの役目も果たしたようです♪

▲可愛く出来たでしょ？

明和振興センター
親子クリスマスクッキング講座！

みんなでマジパンを▶
楽しくコネコネ♪

12月13日、明和振興センターで親子クリスマスクッキング講座を開催しました。今回はマジパンを使って好きなキャラクターを作り、ロールケーキのデコレーションもしました。参加者は親子で、また友達と相談しながら、楽しそうに作っていました。

今後もこのような講座の開催を考えていますの、ご要望があれば明和振興センターまで連絡ください。

皆さんからの身近な情報をお待ちしています。ご意見ご要望もお気軽にお寄せください。
総務課　☎82－5210　Fax 82－2117

▲写真がいっぱいでとても分かりやすく、子どもも楽しく学べます

「只見の自然を楽しむ本」が刊行

只見の自然環境をやさしく解説した本が刊行されました。３２ページ、オールカラーで、山が雪崩で侵食された雪食地形や昨年発見されたタダミハコネサンショウウオ、日本一のユビソヤナギ林、珍しい雪の形などが紹介されています。只見の自然に学ぶ会が、福島銀行の「ふるさと自然環境基金」の助成を受けて編集し発刊したもので、町内の小中学校の全校生徒や三地区振興センターに寄贈されました。只見町観光まちづくり協会で、７００円で販売もされています。

ブナセンター料理教室
「只見のそばを食べる！」11月22日(土)

只見町ブナセンター

会津若松市在住でふくしまの食文化研究家　平出美穂子先生を講師に迎え、今年も料理教室「只見のそばを食べる！」をブナセンターで開催しました。

只見町で採れたそばを使い「揚げ蕎麦がきのみぞれがけ」、「蕎麦菜と厚揚げの炒め煮」、「蕎麦米しるこ」という３つのそばを使ったメニューを調理しました。天候不順により蕎麦菜が育たないというハプニングがありましたが、カイワレと豆苗で代用し３品の料理を作る事が出来ました。

はじめに平出先生から、それぞれの調理手順の説明があり、その後作りたい料理ごとに分かれて調理を行いました。調理後は、昼食も兼ねた試食会を行い、平出先生から蕎麦の栄養価や、蕎麦にまつわるお話を聞いたり、それぞれ蕎麦料理の感想や意見交換を行ったりと参加者同士が交流を深める充実した料理教室となりました。

料理教室には、男女合わせて10名の方が参加され、町内だけでなく町外からの参加もあり、参加者からは、「また参加したい」「蕎麦菜を育ててみたい」といった声が聞かれました。

▲調理作業風景

▲試食会のようす